

○平成22年度各種会計歳入歳出決算認定

(認定・全員)

監査委員審査意見書



小松 義弘
代表監査委員

前野 由和
監査委員

平成22年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めるところである。

一般会計及び特別会計における歳入総額は70億7968万5千507円、歳出総額は68億3224万8千666円となり、前年度に比べ歳入は5億802万2千622円、8.2%、歳出は5億525万2千385円、8.8%とそれぞれ増加している。

歳入・歳出差引額の形式収支2億4743万6千841円から翌年度に繰り越すべき財源4千428万2千円を控除した実質収支は2億315万4千841円となり、前年度実質収支1億9238万2千604円に比べ1千7万2千237円増加し大幅な黒字となった。

度と比べ町民税及びたばこ税が微増し、固定資産税及び軽自動車税は減少したものの全体として前年度に比べ232万4千369円、0.6ポイント増となっている。

平成22年度の我が国の経済情勢は、平成20年9月の米国金融危機に端を発した世界同時不況に伴う急激な景気の落ち込み以降、各国の金融安定対策の効果もあり、景気は緩やかな回復傾向にあった。しかし、欧州での金融不安などの景況から、海外景気の減速、為替ルートの暴気の下押し、国内においてはデフレの影響や雇用情勢の悪化等も見られ、本格的な景気の回復にはしばらく時間を要する状況となった。

このような経済情勢の中、政府は「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現に主眼をおいた「新成長戦略」を平成22年6月に公表し、平成22年6月に公表し、元気な日本を復活させるためには、予算の構造改革が不可避であるとした。

その後、具体的方策として「新成長戦略実現に向けた3段階構えの経済対策」を平成22年9月に公表し、即効性のある雇用対策や円高デフレ対応のための緊急経済対策など、景気の自立回復に向けた道筋を確かなものにしていくための総合経済対策を措置することとされた。

これらの経済対策は、デフレからの脱却、雇用の創出や環境・エネルギー・医療・介護・観光振興など、地域の振興や活性化を推進するための規制緩和や制度改革も含まれており、地方自治体においては新

たな雇用創出などの波及効果が期待された。しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う地震と津波、さらには福島第1原発に伴う被害は甚大なものであり、我が国経済に及ぼす影響は計り知れなく、長期にわたり、広範かつ深刻なものが見込まれ、緩やかな回復経路に復するとされた景気について、下方修正を余儀なくされた。

このような経済情勢等の影響や景気の動向を踏まえると、本町を取り巻く歳入環境は今後も依然として厳しく、特に歳入の根幹をなす町税収入においては多くを見込むことは困難である。また歳出面では少子高齢化の一層の進展、雇用情勢の悪化に伴う扶助費等の増加や安全・安心のための基盤整備等への対処など、多くの課題を抱

えている。本町が将来に向けて持続的に発展していくためには、歳入に見合った支出に心掛け、健全で安定した行政運営を基本に、最小の経費で最大の効果を上げることに一層留意しなければならぬ。

財政分析等からみて総括すると、平成16年度ごろの逼迫した財政状況は、歯止めがかかり、改善に向けた明るい兆しが見えてきた。起債残高も取りあえずは減少に転じ、町の貯金である財政調整基金や減債基金も少しずつではあるが増加しつつある。

今後、この基金を活用し、「ゆとりすとカントリーおおとよの計画」に基づき、本町の最大の資源である森林を活用した施策を展開し、地域の活性化が図られることを期待する。

行政報告

○小笠原春行氏のご冥福をお祈り申し上げます

(右崎憲郎町長)

去る9月29日、逝去されました故小笠原春行氏はご生前、住民の代表として、ただひたすら住民のため、地域のために尽くされました。その数々

のご功績に対し、深甚なる敬意を表するとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

○葛原集落で住宅火災発生

11月20日に葛原で住宅火災が発生、母屋80平方メートルが全焼した。

○第40回嶺北畜産能力共進会でブランドチャンピオン

11月11日に第40回嶺北畜産能力共進会が土佐町の嶺北家畜市場で開催された。西土居の渡辺則夫さんの出品牛2頭が母系牛群の部で優秀賞を、谷の久保内清さんの出品牛1頭が、育成の部で最優秀賞を受賞された。さらに久保内清さんの出品牛がブランドチャンピオンという栄誉ある賞に輝いた。

○徳弘秀綱氏文部科学大臣表彰を受賞

(吉松英喜教育長)

11月17日に文部科学省において、地域の文化財保護に貢献のあった、川口の徳弘秀綱氏が文部科学大臣表彰を受賞した。



中川文部科学大臣との記念撮影

正六位・旭日双光章受章

元町議会議員 故 小笠原春行 氏

故小笠原春行氏が大豊町議会議員として、通算8期、26年余にわたり、健全な議会運営と地方自治の進展に努められた功績が認められ、去る12月12日に、正六位と旭日双光章受章の伝達が高知県庁で行われました。永年のご功績に敬意を表するとともに、安らかなご冥福をお祈りします。

議長 都築 正光

一般質問 ゆとりすと生放送

12月定例会の一般質問がゆとりすと放送で生放送されました。お聞きいただけましたでしょうか？
ご意見、ご感想などございましたら、議会事務局までご連絡をお願いいたします。

☎ 72 - 0468 (直通)